大学教員のためのPBL実践ガイド

2014.4.22

木塚

この本は何か

- 九州大学 大学院 の社会情報システム工学コース(QITO)のPBLのノウハウ集
  - PBLの対象：修士1年前期～修士2年前期（1年半）
- 教員がPBLを実践するための教材
  - 単なる報告でなく、想い／目的、問題点や今後の課題をまとめ、考察した
- ここで無償公開中（成果報告的な）
  www.qito.kyushu-u.ac.jp

はじめに

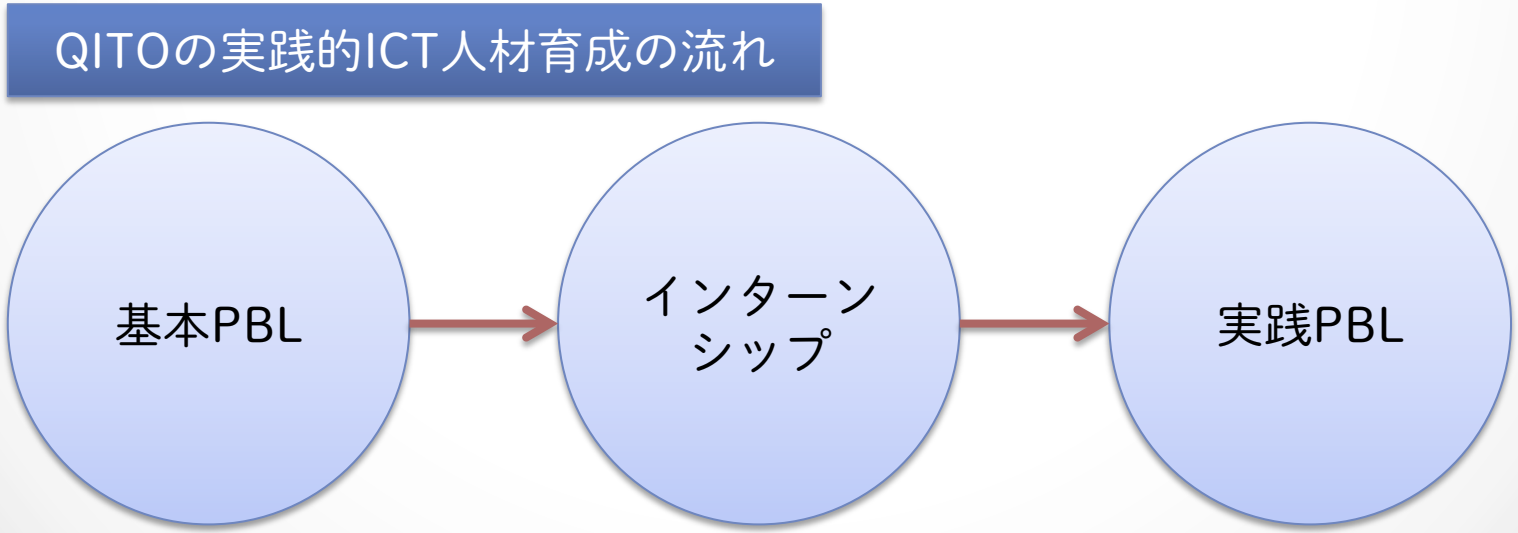
- 近年、ICTはあらゆる分野の基盤技術である
- あらゆる分野の競争力を強化するためにICT人材育成が必要で、多くの大学ではその取組が始まっている
- 近年の情報系教育は、個別教育だった
  - 人間力／技術力／創造力・デザイン力／世界観 の育成不足
- 今後必要となるPBL（Project-Based Learning）
  - 学生がプロジェクトを起こし、複数の学生によるチームを組んで、知恵を出し合い、一つの目標に向かって進むPBL
  - 高度情報社会を先導できる問題／課題を自ら発見し、その目標に向かって進むPBL
- だが、参考にするPBLの教科書がない！
  →作ろう！　→作った結果がコレ

各章の構成

- 第１章　九州大学における実践的ICT人材育成
  - QITOコースの理念、カリキュラム全般について
- 第２章　PBLについて
  - PBLの一般的な定義について説明
- 第３章　PBLカリキュラムのフレームワーク
  - カリキュラムとしてのPBL[準備、実施、評価]を全体説明
- 第４章　基本PBL
  - 基本PBL（ソフトウェア開発の基礎技術習得）を具体的に説明

各章の構成

- 第５章　実践PBL
  - 実践PBL（企業や大学教員から提供されたテーマにそって実施）を具体的に説明
- 第６章　インターンシップ
  - 基本PBLと実践PBLの間に実施している長期インターンシップの説明



キーワード

- QITOコース（キットコース）
  - 九州大学システム情報科学府
    情報知能工学専攻　社会情報システム工学コース
    Kyusyu University Information Communication Technology Architect Education Program　の略
- CeFIL（セフィル）
  - 特定非営利活動法人
    高度情報通信人材育成センター　の略
  - （経団連の高度情報通信人材育成部会を引き継いだNPO）
    ※経団連：日本の東証第一部上場企業を中心に構成される団体
- ICT
  - 情報通信技術：Information and Communication Technology　の略